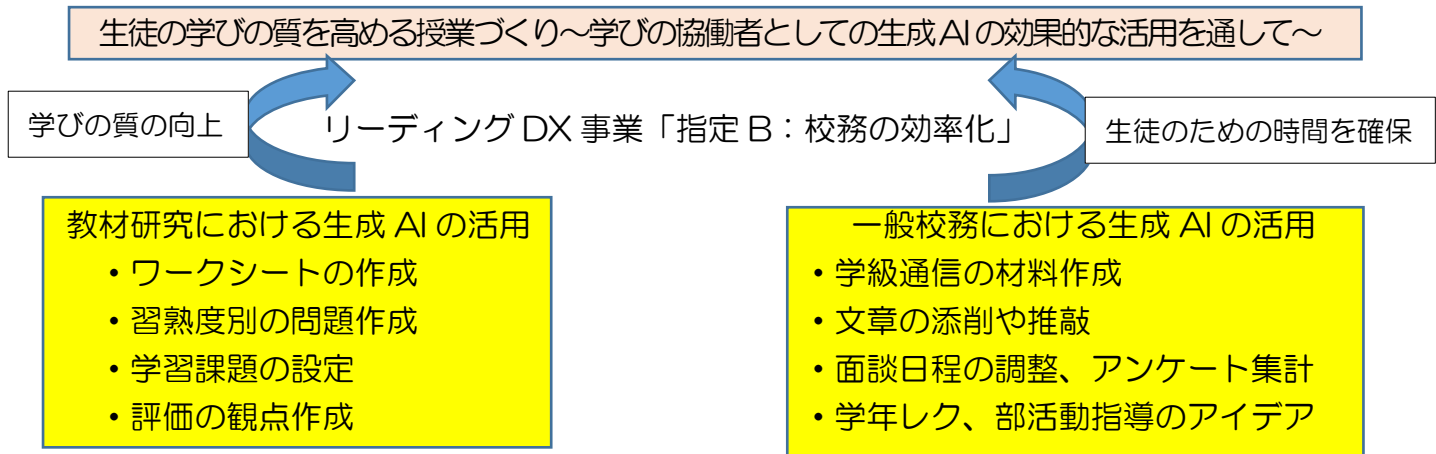


## 校内研究

### 1. 山内中学校の研究主題



### 2. 令和8年度学校教育活動全体構造図より

#### (1) 目指す生徒像

かしこく（知） 自ら学び、共に高め合う生徒

★積極的に授業に参加し、粘り強く取り組む生徒

- ・自分の考えを持ち、相手に分かりやすく伝えられる生徒
- ・仲間の意見に耳を傾け、対話を通して考えを深められる生徒
- ・学んだことを生活にいかすことができる生徒
- ・学習用端末（生成AI）を効果的に活用する生徒

#### (2) 全職員による「目指す生徒像」の実現に向けた学習指導及び生徒指導の共通理解・共通実践

- ・校内研修の充実と授業改善の推進
- ・生成AIの適切な活用法に関するガイダンス・総合や学習タイムでの活用
- ・リーディングDXスタイル（生成AIの活用を含む）を踏まえた教材研究・授業実践で活用できるプロンプト作成
- ・生成AIを用いた校務（一般校務）の効率化

### 3. 研究主題設定の理由とねらい

(1) 学習に対する目的意識が低く 50 分間授業に集中できない生徒が一定数存在する。

⇒個別最適かつ協働的な学習を行うことで、主体的に授業に参加する生徒を育成

(2) 集団における学力差が顕著であり、一斉指導に適應できない生徒が多い。

⇒習熟度に応じた課題の提示、協働的な学習における学びあいの時間を設定

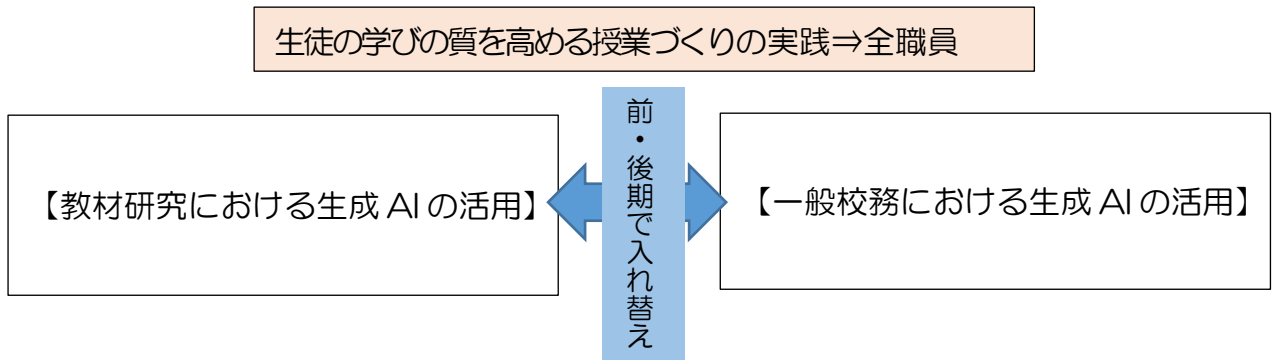
(3) 生成AIの適切な活用法に関する知識・技能の不足

⇒生成AIの適切な活用法に関するガイダンス・総合や学習タイムでの活用

#### 4. 研究組織

(1) 研究推進委員会【校内研究実施日の前週に設定 ※臨時もあり】

(2) 校内研究会【毎月第3水曜日に設定する】



#### 5. 研究の柱（視点）

(1) リーディング DX スタイル（生成 AI の活用）を踏まえた教材研究・授業実践  
⇒一人一実践（※日程を調整し、空き時間の先生による参観）及び情報共有

※6月,9月,11月 公開授業予定

(2) 生成 AI の適切な活用法に関するガイダンス・総合や学習タイムでの活用

(3) 生成 AI を用いた校務（一般校務）の効率化 プロンプトの蓄積・共有

#### 6. 研究の進め方（年間の流れ）

	主な内容
第一回 4月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究概案の確認・シラバスのすり合わせ</li> <li>総合的な学習の時間を使った生成 AI に関するガイダンスについて</li> </ul>
第二回 5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月校内研究会の振り返り</li> <li>自主学習の「質」を高める工夫について</li> <li>※グループによる実践と課題の共有 &amp; 全体会</li> </ul>
第三回 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区中体連前のため「なし」の予定</li> <li>※6月に授業をする先生の授業検討会を研究推進委員会の中で実施</li> </ul>
第三回 7月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月校内研究会の振り返り</li> <li>※グループによる実践と課題の共有</li> <li>教材研究 G、一般校務 G による取り組み紹介</li> </ul>
第四回 8月 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力学習状況調査（3年）、佐賀県学習状況調査（2年）、標準学力調査（1年）の結果分析</li> <li>※全体会、教科会で確認及び検討</li> </ul>
第5回 9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月校内研究会の振り返り</li> <li>※グループによる実践と課題の共有</li> </ul>

※10月以降の内容については、学校全体の状況に合わせて決定する。